



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 株式会社ブイキューブ 上場取引所 東
コード番号 3681 URL https://jp.vcube.com/
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 間下 直晃
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 山本 一輝 TEL 03 (6625) 5011
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績 (2024年1月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		調整後 EBITDA		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	7,802	△3.8	817	△5.4	△131	—	△267	—
2023年12月期第3四半期	8,111	△10.8	864	△41.3	△198	—	△234	—

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 △575百万円 (—%) 2023年12月期第3四半期 383百万円 (△79.3%)

	親会社株主に帰属する 四半期純利益		1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	△684	—	△27.08	—
2023年12月期第3四半期	△475	—	△19.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
2024年12月期第3四半期	11,275	—	614	—	4.1	17.78
2023年12月期	12,329	—	746	—	5.0	25.62

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 460百万円 2023年12月期 621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	—
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		調整後 EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	11,400	2.9	1,450	12.5	300	—	200	—	100	4.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	26,343,900株	2023年12月期	24,737,400株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	466,472株	2023年12月期	466,472株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	25,279,377株	2023年12月期3Q	24,270,928株

(5) 経営指標の算式

調整後EBITDA：営業利益＋減価償却費＋のれん償却費±EBITDA調整項目（※）

（※）EBITDA調整項目：営業収益・費用のうち、非経常または非継続事業の取引損益(M&A関連費用、撤退事業の損益等)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	8,111,356	7,802,984	△308,372	△3.8
営業損失(△)	△198,643	△131,741	66,902	—
経常損失(△)	△234,480	△267,398	△32,918	—
親会社株主に帰属する四 半期純損失(△)	△475,953	△684,474	△208,521	—

当第3四半期連結累計期間においては、主に企業向けの防音型個室ブースの設置販売が好調の一方で、国内のイベントDX事業の大口顧客の案件減少の影響により、売上高は前年同期比で3.8%減の7,802,984千円となりました。

また、主に前連結会計年度で実施した国内及び米国での構造改革によって一定のコスト削減効果は得られたものの、TEN Holdings, Inc.におけるIPO関連費用の計上等により、営業損失は前年同期より66,902千円縮小し131,741千円(前年同期は営業損失198,643千円)となりました。

営業外損益及び特別損益においては、主に今後十分な収益性が見込まれない一部のソフトウェアについて減損損失165,296千円を計上したほか、財務関連手数料として支払手数料52,442千円(前年同期比6,911.0%増)、海外子会社との取引で生じた債権債務の為替換算等による為替差損53,531千円(前年同期は為替差益8,884千円)、支払利息45,240千円(前年同期比28.0%増)を計上いたしました。

また、当第3四半期連結累計期間において、繰延税金資産の一部を取崩したこと等により法人税等調整額173,649千円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失684,474千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失475,953千円)を計上いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、添付資料「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等の注記)」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の一部のセグメント区分の変更及び全社費用の配賦基準の変更を行っております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、新しい方法により作成しており、以下の前年同期比については、新しい方法により組み替えた数値で比較しております。

I. エンタープライズDX事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	3,162,903	3,070,925	△91,978	△2.9
セグメント利益	491,865	506,041	14,176	2.9

エンタープライズDX事業は、主に企業や官公庁等を対象に、社内外のコミュニケーションにおけるDX(デジタルトランスフォーメーション)を支援するサービスを提供しております。

具体的には、自社開発の汎用Web会議システム「V-CUBE ミーティング」や「Zoom」の販売のほか、ディスカッションテーブル「V-CUBE Board」などの災害対策ソリューションやウェアラブルデバイスなど、企業向けのリモートコミュニケーションプロダクトを提供しております。また、顧客企業において映像組み込み型サービスの開発を容易にする「V-CUBE Video SDK」の提供やサービス開発及び運用支援をすることで、顧客企業におけるソリューション開発を支援しております。

当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は、前年同期比2.9%減の3,070,925千円となりました。これは主に、第2四半期連結会計期間にプロフェッショナルワーク事業を譲渡した影響によるものであります。一方で、一時的に円安傾向が一服したことに加え、販売価格の値上げや仕入価格の低減の施策が利益率の改善に寄与したこと等により、セグメント利益率は15.6%から16.5%に増加し、セグメント利益は前年同期比2.9%増の506,041千円となりました。

II. イベントDX事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	3,140,838	2,800,433	△340,405	△10.8
セグメント損失 (△)	△372,509	△377,524	△5,015	—

イベントDX事業は、様々な分野におけるイベント、セミナーのリモート化を支援する事業であります。

具体的には、Webセミナー配信サービス「V-CUBE セミナー」や「EventIn」などのセミナー配信プロダクトを提供するほか、イベント配信に係る運用設計、当日の配信サポートや後日のイベントデータ解析などの運用支援サービスを提供しております。

当第3四半期連結累計期間のセグメント売上高は、前年同期比10.8%減の2,800,433千円となりました。これは、主に米国連結子会社TEN Events, Inc. (旧Xyvid, Inc.)の回復が継続した一方で、国内の大口顧客の案件減少の影響によるものであります。また、セグメント損失は377,524千円（前年同期はセグメント損失372,509千円）となりました。これは、主に新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行の影響により、ハイブリッドイベントの増加に伴う会場費等の増加による利益率の低下のほか、TEN Holdings, Inc.におけるIPO関連費用の計上によるものであります。

III. サードプレイスDX事業

(単位：千円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率 (%)
売上高	1,807,614	1,931,625	124,011	6.9
セグメント利益	517,766	575,587	57,821	11.2

サードプレイスDX事業は、自宅や職場とは異なるサードプレイス（第3の場所）の提供や運用支援を行うことで、昨今日本に浸透しつつあるテレワークを1つのワークスタイルとして定着させることを目的とする事業であります。

具体的には、企業及び公共空間への「テレキューブ」の提供、公共空間における防音型個室ブースの管理運営システムの開発、「テレキューブ」において提供する関連サービスの開発を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、セグメント売上高は前年同期比6.9%増の1,931,625千円となりました。これは、主に企業向けの防音型個室ブースの多様な販売モデルを通じた提供が堅調に推移したことによるものであります。

また、セグメント利益は前年同期比11.2%増の575,587千円となりました。これは、主に企業向けに提供しているテレキューブの販売台数が増加したためであります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減
資産	12,329,168	11,275,960	△1,053,208
負債	11,583,111	10,661,100	△922,011
純資産	746,056	614,860	△131,196

①資産

当第3四半期連結会計期間末において、資産残高は前連結会計年度末比1,053,208千円減の11,275,960千円となりました。これは、主に売掛金残高が減少したこと及びプロフェッショナルワーク事業の事業譲渡により固定資産が減少したことによるものであります。

②負債

負債残高は、前連結会計年度末比922,011千円減の10,661,100千円となりました。これは主に長期借入金の返済により残高が減少したことによるものであります。

③純資産

2024年3月22日付及び2024年6月13日付で第三者割当増資の払込みを受けた一方、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により、純資産残高は前連結会計年度末比131,196千円減の614,860千円となりました。この純資産減少の影響により、自己資本比率は4.1%（前連結会計年度末は5.0%）に減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期連結業績予想につきましては、2024年8月14日公表の連結業績予想から変更しておりません。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度において連結子会社TEN Events, Inc. (旧Xyvid, Inc.) ののれんの減損等により、親会社株主に帰属する当期純損失を計上いたしました。これにより純資産が減少し、金融機関と締結した借入契約における財務制限条項に抵触いたしました。当該財務制限条項が適用され、期限の利益喪失請求権が行使された場合、資金繰りに影響が生じるため、当第3四半期連結会計期間末において、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象が存在しております。

このような事象又は状況を解消するために、主に下記の施策を推進し、収益性をより一層改善した経営基盤の再構築を目指してまいります。

- ・主にイベントDX事業における外注費の削減を中心とした原価改善
- ・自社開発プロダクトの選択と集中による開発投資の適正化
- ・2023年に実施した経営合理化施策の延長として更なる全社費用の削減

また、財務体質の改善施策の一環として、第三者割当による新株式及び第19回の新株予約権の発行の他、プロフェッショナルワーク事業の事業譲渡を実行いたしました。

更に、当社は金融機関との連携を強めており、上記の施策に加えて、金融機関と協議の上で財務体質の改善に向けた施策を実行してまいります。これにより、今回の財務制限条項への抵触に関しても、期限の利益の喪失の権利行使をしない旨の同意を得ております。以上により、当面の資金繰りには問題なく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389,327	1,490,311
受取手形及び売掛金	1,822,004	1,322,012
前渡金	12,210	—
前払費用	715,895	715,709
その他	90,936	215,174
貸倒引当金	△13,473	△19,176
流動資産合計	4,016,900	3,724,031
固定資産		
有形固定資産	1,964,515	2,014,589
無形固定資産		
ソフトウェア	2,042,348	2,183,584
ソフトウェア仮勘定	1,482,648	888,227
のれん	844,062	774,063
無形固定資産合計	4,369,059	3,845,876
投資その他の資産		
投資有価証券	600,176	464,321
関係会社株式	401,785	398,368
長期貸付金	35,455	35,705
敷金及び保証金	330,576	326,458
繰延税金資産	511,183	356,090
長期前払費用	66,527	60,876
その他	34,222	35,595
貸倒引当金	△1,234	△1,234
投資その他の資産合計	1,978,692	1,676,181
固定資産合計	8,312,267	7,536,647
繰延資産		
株式交付費	—	15,281
繰延資産合計	—	15,281
資産合計	12,329,168	11,275,960

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	579,049	328,201
短期借入金	3,881,217	3,705,990
1年内返済予定の長期借入金	754,500	754,500
契約負債	911,791	914,078
賞与引当金	107,522	86,289
未払法人税等	34,381	36,178
その他	975,167	868,453
流動負債合計	7,243,630	6,693,691
固定負債		
長期借入金	3,847,500	3,331,625
リース債務	176,829	290,247
資産除去債務	289,998	319,424
その他	25,153	26,111
固定負債合計	4,339,481	3,967,408
負債合計	11,583,111	10,661,100
純資産の部		
株主資本		
資本金	92,190	310,669
資本剰余金	2,831,834	3,045,754
利益剰余金	△3,220,036	△3,904,510
自己株式	△794,791	△794,791
株主資本合計	△1,090,802	△1,342,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	93,103	88,245
為替換算調整勘定	1,619,613	1,714,637
その他の包括利益累計額合計	1,712,717	1,802,882
新株予約権	8,410	16,762
非支配株主持分	115,731	138,093
純資産合計	746,056	614,860
負債純資産合計	12,329,168	11,275,960

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
売上高	8,111,356	7,802,984
売上原価	4,647,888	4,795,516
売上総利益	3,463,467	3,007,467
販売費及び一般管理費	3,662,110	3,139,209
営業損失(△)	△198,643	△131,741
営業外収益		
受取利息	5,803	3,982
受取保険金	1,571	1,330
為替差益	8,884	—
助成金収入	1,726	2,483
投資有価証券評価益	15,353	—
持分法による投資利益	—	10,624
その他	2,031	2,848
営業外収益合計	35,371	21,269
営業外費用		
支払利息	35,356	45,240
為替差損	—	53,531
支払手数料	748	52,442
投資有価証券評価損	18,592	2,128
持分法による投資損失	9,032	—
その他	7,477	3,582
営業外費用合計	71,207	156,926
経常損失(△)	△234,480	△267,398
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,912
受取和解金	10,000	—
新株予約権戻入益	—	2,160
特別利益合計	10,000	5,072
特別損失		
固定資産除却損	4,200	762
減損損失	—	165,296
投資有価証券評価損	—	7,300
リース解約損	4,941	1,145
和解金	18,852	—
事務所移転費用	10,245	—
事業再編損	7,065	—
特別退職金	133,000	—
その他	—	12,480
特別損失合計	178,305	186,984
税金等調整前四半期純損失(△)	△402,785	△449,310
法人税、住民税及び事業税	13,157	43,003
法人税等調整額	35,036	173,649
法人税等合計	48,193	216,653
四半期純損失(△)	△450,979	△665,964
非支配株主に帰属する四半期純利益	24,974	18,510
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△475,953	△684,474

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
四半期純損失(△)	△450,979	△665,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,014	△4,858
為替換算調整勘定	797,212	95,023
その他の包括利益合計	834,226	90,164
四半期包括利益	383,247	△575,799
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	359,326	△593,601
非支配株主に係る四半期包括利益	23,920	17,802

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンタープライズDX事業	イベントDX事業	サードプレイスDX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,162,903	3,140,838	1,807,614	8,111,356	—	8,111,356
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,162,903	3,140,838	1,807,614	8,111,356	—	8,111,356
セグメント利益又は 損失 (△)	491,865	△372,509	517,766	637,122	△835,766	△198,643

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△835,766千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	エンタープライズDX事業	イベントDX事業	サードプレイスDX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,070,925	2,800,433	1,931,625	7,802,984	—	7,802,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,070,925	2,800,433	1,931,625	7,802,984	—	7,802,984
セグメント利益又は 損失 (△)	506,041	△377,524	575,587	704,104	△835,846	△131,741

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△835,846千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に反映させるため、当社グループ内の一部のセグメント区分及び全社費用の配賦基準を変更しております。

当該変更による当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの売上高に与える影響は軽微であります。また、当該変更によりセグメント利益又は損失 (△) が、「エンタープライズDX事業」で150,169千円、「イベントDX事業」で91,094千円、「サードプレイスDX事業」で91,175千円増加し、「調整額」が332,439千円減少しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の新しい方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年3月22日付で、Long Corridor Alpha Opportunities Master Fund及びMAP246 Segregated Portfolio, a segregated portfolio of LMA SPCより第三者割当増資の払込みを受けました。また、2024年6月13日付で、当社代表取締役会長である間下直晃より第三者割当増資の払込みを受けました。これらを主な要因として、当第3四半期連結累計期間において資本金が218,479千円、資本剰余金が213,919千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が310,669千円、資本剰余金が3,045,754千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	767,052千円	789,445千円
のれんの償却額	277,100千円	98,994千円